

新任党幹部に聞く

東 順治 団体渉外委員長



—新任の抱負を。
東 順治 団体渉外委員長
公明党の最大の強みは3000人を超える所属議員の「チーム力」です。これをどう生かして最大の力を発

揮できるか。ここに風力し
ていく決意です。
—党勢拡大・統一地方
選に向けた取り組みにつ
いて。

東 例えば、東京・北区

では毎年、決算
委員会の時期
に、障がい者団
体や建設業団
体、行政書士会、
医師会など30を
超える団体の要
望を聞いていま

チーム力で政策実現

地域に根を張り、信頼を拡大

なごを通して次年度の予算
に反映させています。また、
足立区でも40を超える団体と
8月から政策懇談会を行
い、議会質問に反映させ、
1月に予算がまとまるまで成

みは全国各地で展開され、
地域の方々から大変喜ばれ
ています。公明議員の地道
な取り組みは、他党にない、
本当に素晴らしいものだ
と自負しています。

で、しっかりと意見をすり
合わせ、チーム力で政策と
して結実させる。こうした
地に足の着いた取り組み
が、統一地方選の結果につ
ながるよう全力で取り組ん

す。それを小冊子にまとめ
て区長に提出し、議会質問

果をきちんと団体に報告し
ています。こうした取り組

を行う予定です。そして地
方議員とのキャッチボール

国会でも10月

末から11月にか
け、各種団体の
とのヒアリング

していきます。

—民主党の場合、誰に
要望すればいいか分からな
い、という声が多くあり
ます。

東 そうした意見は私も
多く聞いています。かつて
民主党の団体窓口は幹事長
室に一元化されましたが、
現実的には対応に無理が生
じていました。それで今度
は陳情対応本部を新設する
とのことですが、当然のこ
とながら、政権与党の方針
や対応がブレると、団体も
行政当局も戸惑い、途方に
暮れてしまいます。
公明党には、国でも地方

でも、きちんと現場の声を

聞く体制があります。そし
て、政務調査会での議論や
委員会質問に反映させ、行
政とつながることもできま
す。こうした取り組みを通
して「困った時に頼りにな
る党」という信頼と、「地
域に根を張った国民目線
の政治」という、わが党の
伝統を、さらに充実・拡大
させたいと決意していま
す。

【略歴】党副代表、党福
岡県本部顧問。元防衛政
務次官。北九州市立大学
卒。当選7回。64歳。